



キルギス共和国 (Kyrgyz Republic)



- キルギスへの援助総額は2014年までに累計614.58億円。
- キルギスに対する日本の経済協力は、1996年度からの一般無償資金協力および草の根・人間の安全保障無償資金協力の実施に始まり、2000年には青年海外協力隊(JOCV)の派遣も開始された。2004年には、技術協力協定が締結された。

国概要

(基礎データ)

- 面積: 19万8,500平方キロメートル(日本の約5割)
- 人口: 590万人(2015年, 国連人口基金)
- 首都: ビシュケク(首都圏人口約98.8万人)
- 民族: キルギス系(72.6%), ウズベク系(14.5%), ロシア系(6.4%), ドウンガン系(1.1%), タジク系(0.9%), ウイグル系(0.9%)
- 言語: 国家語はキルギス語(公用語はロシア語)
- 宗教: イスラム教スンニ派
- 政体: 共和制
- 議会: 一院制(120議席)
- GDP: 65.72億ドル(2015年, 世界銀行)
- GDP: 一人あたり 1,103ドル(2015年, 世界銀行)
- 経済成長率: 1.9%(2015年, IMF)
- 失業率: 7.4%(2015年, IMF)

※特に注がない場合は外務省ホームページをもとに記載。

(略史)

17世紀以降	キルギス民族の形成
1855年-1876年	ロシア帝国に併合
1918年	ロシア革命 ロシア社会主義連邦共和国の一部となる
1936年	キルギス社会主義共和国成立
1991年	ソ連より独立宣言
2005年, 2010年	2度の政変を経て議会制民主主義を強化
2011年	アタムバエフ現大統領就任

援助実績(E/Nベース)

スキーム	額(累計)/人数(延べ)
円借款	256.65億円 (2014年度末時点)
無償資金協力	203.21億円 (2014年度末時点)
技術協力	154.72億円 (2014年度末時点)
青年海外協力隊	延べ180人 (2016年6月時点で29人)
シニア海外ボランティア	延べ37人

出典: ODA国別データブック2015

青年海外協力隊事務局統計(平成28年6月末)

(注) 青年海外協力隊には、短期派遣ボランティアを含む。

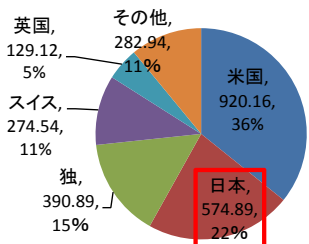
経済関係

スキーム	金額/人数(直近年)
日本からキルギスへの輸出	27.5億円 (2015年, 財務省統計)
キルギスから日本への輸出	32億円 (2015年, 財務省統計)
在キルギス日系企業数	6社 (2015年末時点, 外務省統計)

人的つながり

項目	人数(直近年)
キルギスにおける在留邦人数	152人 (2015年11月時点, 外務省統計)
在日キルギス人数	347人 (2015年末, 法務省統計)
キルギスから日本への留学生数	95名 (2015年5月時点, (独)JASSO調査)

キルギスへの主要ODA供与国 (1992年~2014年累積, 出典: OECD/DAC) (単位: 百万ドル)



日本とキルギス共和国との協力年表

年代	案件
1992年	外交関係樹立
1993年	有償資金協力開始
1996年	一般無償資金協力, 草の根・人間の安全保障無償資金協力開始
2000年	JICA事務所開設
2000年	青年海外協力隊派遣開始
2003年	在キルギス日本大使館開設
2004年	駐日キルギス大使館開設
2004年	キルギス日本人材開発センター開所
2004年10月	日・キルギス技術協力協定署名
2007年	人材育成奨学計画を開始(2015年までに計146名の若手行政官の留学を受入れ)
2013年	アタムバエフ大統領の訪日
2014年7月	岸田外務大臣のキルギス訪問 「中央アジア+日本」対話・第5回外相会合
2014年8月	参議院ODA調査団第4班のキルギス訪問
2014年11月	ジェエンベコフ共和国議会議長の訪日
2015年5月	無償資金協力「2015年から2017年までの選挙における投票者本人確認手続自動化計画」に関する書簡の交換
2015年10月	安倍総理大臣のキルギス訪問 円借款「国際幹線道路改善計画」(119.15億円) 「日本国とキルギス共和国との間の戦略的パートナーシップの深化及び拡大に関する共同声明」を发出
2015年12月	「日本とキルギスを繋ぐ友好チャリティーコンサート」を東京で開催

独立以降、民主化及び市場経済化を軸に改革を進めてきたが、安定した経済成長は望めず、依然として高い貧困率を抱えている。日本は、経済分野における人材育成等を行う当センターを通じ、同国の市場経済開発を担うビジネス人材輩出に貢献している。

